

話題

街にひろう

ふるさと牛久再発見！

3月15日、市中央生涯学習センターで「第3回牛久ゆめまちメッセ」が開催され、多くの親子連れなどが会場に詰めかけました。

子どもから大人まで、多くの人々が楽しめるイベントがめじろ押しで、文化ホールでは「牛久の歴史再発見」と題した基調講演、多目的ホールでは「こどもの科学実験ショー」や「昔のあそび」などが行われ、懐かしい牛久、新しい牛久に出会う機会となりました。

特に、防災科学研究所による雪崩の原理を分かりやすく説明する「ドクター・ナダレンジャー」の実験には、多くの子どもたちが参加しました。お昼には、すいとんやまぜご飯などの販売も行われ、その収益は地域福祉のために寄付されました。

官民協働のまちづくり

牛久市の各施策を進める大事な計画として、現在、市では「牛久市第3次総合計画」および「都市計画マスタープラン」の策定・改定を進めています。

このたび、市内にお住まいの皆さんの意見をいただく機会を設け、これらの計画づくりに生かしていくため、「まちづくり協議会」がスタートしました。2月21日に第1回の会合が開催され、公募により選ばれた市民と市職員からなる。行列を作った来場者たちは、懐かしい味を楽しみながら、地域福祉にも貢献するなど、実りの多い1日となりました。



ナダレンジャーによる不思議な実験

る70人が参加しました。

始めに、事務局からまちづくり協議会で取り組むことや市のまちづくり（総合計画・都市マスタープラン）について説明があり、その後質疑が行われ、協議会の位置付けなどが確認されました。

そして、総合計画の分野にのつとった7つのグループ（文化教育・健康福祉・自然環境・産業・生活基盤・市民交流・行政運営）ごとに、話し合いが行われました。

今後、まちづくり協議会は平成22年にかけて10回程度開催される

オーケストラの夕べ

2月27日、市中央生涯学習センター文化ホールで、オーケストラのシンフォニーコンサートが行われました。

このコンサートは、NHK・FM番組「オーケストラの夕べ」（4月5日（日）午後7時20分～9時放送予定）の公開録音として実施され、抽選で選ばれた1000人を超える観客が、美しい演奏に酔いしれました。

指揮者の円光寺雅彦さんやチェロ奏者の遠藤真理さんと東京フィルハーモニー交響楽団によるクラ



市民と行政が「協働」で話し合い



たくさんのクラシックの名曲を演奏

シックの名曲の数々を聴き、観客からは大きな拍手が起こるなど、夕べのひとときをリラックスして楽しみました。

予定です。一般公開もしていますので、メンバー以外の方もぜひ足を運んでご覧ください。

民間自治功労者表彰式

2月13日、水戸市内で「平成20年度茨城県市長会民間自治功労者表彰式」が行われ、牛久市からは小野寺治子さんと吉田善江さんが表彰されました。

自治功労者表彰は、市の発展に貢献した市民が表彰されるもので、小野寺さんは18年にわたるみどり野行政区長のほか、民生委員児童委員、保護司など、さまざまな分野にわたり、地域住民の福祉向上に尽力された功績が認められたものです。また、吉田さんは23年にわたり民生委員児童委員とし



写真左から水野さんと高橋さん

県民健康づくり表彰式

て活動されているほか、上池台区防災推進委員、上池台行政区長など豊かな地域づくりに尽力された功績が認められたものです。

2月17日、県庁で「平成20年度県民健康づくり表彰式」が行われました。

市の健康づくり普及キャンペーンソングの3曲『禁煙大作戦』『ハミガキのうた』『虫歯虫歯バーイさんのうた』を作曲した向台小学校5年生の高橋玄さんに、健康いばらき21元気アップ優秀賞が贈られました。

また、牛久市食生活改善推進員として多年にわたり、バランスのよい食事や減塩食などの普及に貢献した水野廣子さんには感謝状が贈られました。



写真左から吉田さん、池辺市長、小野寺さん

国道6号バイパスの

事業促進を要望

2月23日、池辺勝幸市長は県土木部長に、国道6号バイパスの事業促進などについての要望活動を実施しました。

池辺市長は、国道6号バイパスが今年度から一部事業化されたことに対する謝意を伝え、併せて今後の事業促進と全線の早期開通を強く訴えました。

当日は、市議会から沼田利光市議会議長、中根利兵衛議員のほか、つくば市、つくばみらい市の議員も同行し、地元地域全体が要望内容について強く望んでいることを訴えました。



県土木部長に要望書を手渡す池辺市長(写真左)

認知症の正しい理解を



認知症を分かりやすく演じた寸劇

2月21日、市中央生涯学習センター文化ホールで、「平成20年度牛久市社会福祉大会」が開催され、約800人の市民が参加しました。

第1部の式典では、長年福祉活動に貢献された方や寄付をいただいた方に表彰状・感謝状が贈呈されました。第2部では、「認知症の人をささえるまちづくりを考えよう」というテーマで、ボランティアによる寸劇などが行われました。

現在、牛久市社会福祉協議会では、認知症を支えるまちづくりを目標し、各行政区での認知症サポーター養成講座の開催やSOSネットワークの設立などの活動をしています。「認知症かな」と感じたら、独りで悩まずにご相談ください。

間伐材を使った作品

3月13日、牛久南中学校の2年生122人が、情操教育の一環として、作家と協働で間伐材を利用したオブジェを制作しました。

この協働作品は、「第23回国民文化祭2008」広域文化交流事業「女化会場」からの移設作品として再構築され、市内で3点目の作品として、新たに「刻の輪」と名付けられました。

薪一本一本に生徒の願いが込められた作品は、間もなく校庭に咲く桜の花とのコラボレーションを待ち望みながら、生徒を温かく見守り続けることでしょう。



間伐材を利用した作品「刻の輪」

これからも平和を！



柿の木を植樹する生徒たち

3月12日、牛久第三中学校で「柿の木プロジェクト」による被爆柿の木二世の植樹式が行われました。

この植樹式は、平和使節として夏休みに広島市を訪問した生徒の「平和の集い」を発展させ、被爆柿の木二世の植樹を通して、戦争の悲惨さ、平和と命の大切さを伝え、生きること、生命力の強さなどについて考える良い機会とすることを目的にしています。

柿の木プロジェクト実行委員会の海老沼正幸さんは「今日植樹する柿の木が水の波紋のようにここから平和を発信していつてほしい」とあいさつ。2年生163人が、柿の木の成長と、これからの世界の平和を祈りながら苗木に土をかけました。

外国人による日本語スピーチコンテスト出場

2月7日、県内に住む外国人10カ国15人が参加し、日本語で意見発表する「第18回外国人による日本語スピーチコンテスト」が、水戸市の県民文化センターで開かれました。牛久市からは、中国出身の倉田頼さん(上写真)、韓国出身の李安龍さん(下写真)の2人が出場しました。

2人は牛久市国際交流協会主催の日本語教室で勉強しています。



それぞれ自国と日本の生活文化の違いなどをテーマに、表現豊かに話しました。牛久の日本語教室からの出場は初めてで、練習からずっと見守っていた日本語教室のボランティアの方々も応援に駆け付けました。

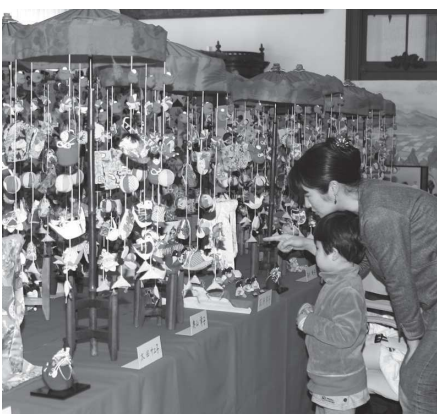
色とりどりのつるし雛

3月16日から22日まで、シャトーカミヤ本館2階で「第1回花工房作品展(シャトーの春)」が開催されました。このつるし雛展には、手芸グループ花工房、牛久婦人会と小坂女性会が出席しました。

つるし雛とは、江戸時代から女性の手から手へと伝えられた伝承の細工物を、子どもの健やかな成長を願って飾ったものです。例えば、つるし雛の「桃」は邪気悪霊を退治し延命長寿を祈る、「ふくろ

う」は福や不苦労など、一つひとつの細工に意味があります。

出展者たちは、家族の健康と平和で安全な暮らしへの願いを込めて一針一針丁寧に縫いました。



子どもたちに人気のつるし雛

牛久市スポーツ少年団 設立30周年

1月24日、設立30年を迎えた牛久市スポーツ少年団は、市内で記念式典を行い、市から8人の指導者に感謝状が贈られました。

平成20年度現在、市スポーツ少年団は8競技28単位団で構成され、約900人の団員がそれぞれの競技で元気に活動しています。有資格者を含めた指導者263人が子どもたちの指導に一生懸命努力しています。

【市から感謝状が贈られた方】

- 宮下英彌(奥野ライナース)、大高幸一・須藤和則(清流剣友会)、武末美恵子・熊谷利枝・堤茂実・川村修治(向台小サッカー)、鈴木義隆(牛久剣友会)

(敬称略)



設立30年を祝う記念式典

牛久市体育協会 スポーツ指導者研修会



自らの経験を語る栗本先生

3月8日、市中央生涯学習センター大講座室で「平成20年度スポーツ指導者研修会」が行われ、研修委員の参加報告などを受けながら、スポーツと地域の活性化について考えました。

また、講演では大相撲元十両武哲山で、東洋大学附属牛久高等学校相撲部監督の栗本剛先生が「相撲は私の恩人々相撲を通じて学んだこと」と題して自らの体験を話しました。現役時代に出会った恩師たちから教わったこと、自分が経験したことを生かして生徒の指導に励み、就任9年目に見事高校総体優勝に導いた話など、約1時間にわたって熱く語りました。

第16回ヘルシーボール大会

ブロック	部門	優勝チーム	準優勝チーム
1ブロック	子供(小学生)の部	若竹ウィッシュ	若竹ポニョ
2ブロック	女子の部	シルキーズ	ぴんく
3ブロック		岡田小 PTA ヘルシーボールクラブ A	岡田小 PTA ヘルシーボールクラブ B
4ブロック	男女混合の部	一厚東若老(わかぼけ)会	かっぱクラブ
5ブロック		かんぼーず	上池台行政区
6ブロック		松ヶ丘	牛久かっぱ太鼓
7ブロック		牛久剣友会	ダイワモンスターズ
8ブロック		ヘネシーバレー部	スポ少空手大人
9ブロック		プリーモ	Can Can

<2月22日(日)、牛久運動公園メインアリーナ、390人参加>



牛久剣友会の皆さん

牛久剣友会が、全日本剣道連盟の「平成20年度少年剣道教育奨励賞」を受賞しました。時代や環境の変化に流されず、永年剣道指導に尽力してきた実績が認められての受賞となりました。

牛久剣友会が表彰



岡田小 PTA ヘルシーボールクラブの皆さん

文部科学大臣賞 受賞作品の寄贈



写真左が作者の遠藤洋子さん

2月13日、「第34回国際美術大賞展」で文部科学大臣賞を受賞した水墨画が、作者の遠藤洋子さんから市に寄贈されました。

今回寄贈された『雲開け日出る』というこの作品は、120号の大きさで、縦130センチ、横194センチの大きな作品です。遠藤洋子さんは、奥野生涯学習センターの水墨画同好会の指導者として活躍され、牛久市の芸術・文化活動の発展に貢献されています。

今後、この作品は市中央生涯学習センター文化ホールホワイエに展示が予定されています。

下村プロから

チャリティーゴルフ寄付金

2月23日、牛久市出身の女子プロゴルファー下村真由美さんが、チャリティーゴルフの収益金を牛久市社会福祉協議会へ寄付しました。

下村さんは、平成17年にステツプアップツアー「ウッドワンレディースカップ」「東芝電子デバイスレディースカップ」で優勝するなど、期待されている26歳の若手女子プロゴルファー。昨年の賞金ランキングは46位。

170センチの恵まれた体から振り下ろすドライバーショットは女子ゴルフ界でもトップクラスの飛距離を誇ります。牛久から羽ばたいた下村さんに、市民の皆さんの応援をお願いします。



寄付金を渡す下村さん(写真左)



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちよっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちよっと
休憩
ぶれいく

皆さんのお便りから



南・犬塚さん



ペンネーム
ながじゅんさん

短歌・俳句・川柳コーナー

梅の香をまといてバスにもどりけり

小坂町 飯塚さん

水仙が庭に咲きて春を呼ぶ

女化町 砂押さん

梅一輪咲きて嬉しき日差しかな

女化町 清水さん

愛犬も桜を仰ぐ季節かな

栄町 増田さん

悪妻とはなれて見れば良き女房

猪子町 田中さん

日だまりに蕾ふくらむ福寿草

久野町 酒井さん